



フィールド レポーター便り

寒さの厳しい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回のフィールドレポーター便りは、ホテル調査の報告と案山子調査の中間報告という形で、とりまとめを行いました。今回もボランティアの方々の協力のもと、データ整理する事ができました。

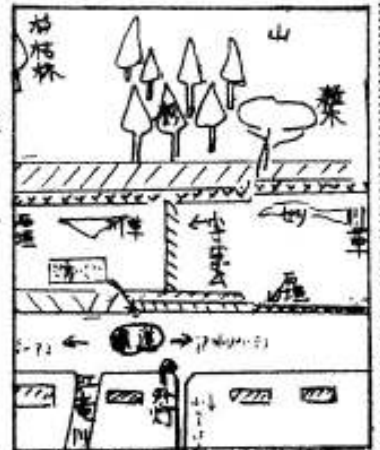
第2回調査「ホテル調査」とりまとめ結果報告

ホテル調査は58件の報告がありました。報告していただいた方は、夜の調査で大変だったと思います。今回は水と文化研究会のホテルダス調査（博物館の展示でも紹介しています）と共通の調査を行いました。この結果報告にはフィールドレポーターからのデータだけでまとめてみました。なおホテルダスのとりまとめにも、フィールドレポーターのデータを利用させてもらっています。

調査をした感想

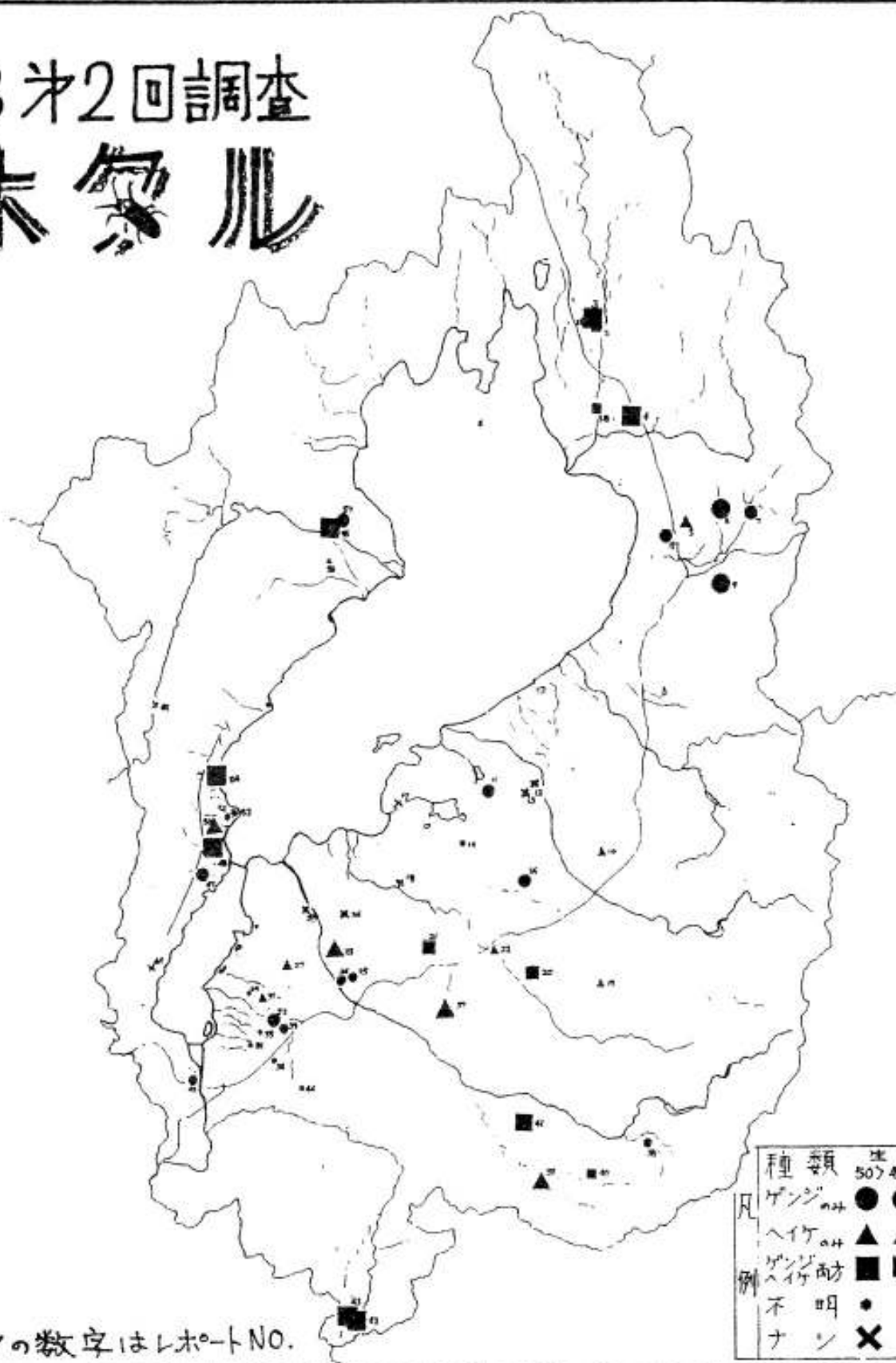
・調査を通じて、さまざまなことを感じられたようです。一部ですが紹介します。

- ◇ ほ場整備された小さな小川なので、いないと思っていましたが、40 mの間に50匹以上見られ驚いている。光る幼虫や蜘蛛の巣に捕まったホテルも観察できた。多くの人がこんな調査をすれば、ホテルや自然を大切にしているのではないかと思います。
(安曇川町 匿名希望さん)
- ◇ ついにホテルに出会えなかった。昼以上に明るい照明。コンクリート張りに変化する川。次第に遠ざかる田舎の情緒にさみしい思いがしました。
(大津市 伊東貴美子さん)
- ◇ もうホテルはいなくなったと思っていましたが、調査をしてまだあちこちに生息していて、うれしく思いました。同行した子供がいろいろな疑問や興味をもったのは、感動が揺り起こしたものだと思います。
(大津市 前田雅子さん)
- ◇ ゲンジボタルの乱舞は風流なものです。人は日々自然を壊していますが、生き物の調査をすると、それに対して涙がでできます。(湖北町 土田正文さん)
- ◇ ホテルの存在はその土地の宝のようなものではないだろうか。ホテルの数を増やすのは難しいだろうが、せめて減らさぬように生活していきたいものだ。
(八日市市 匿名希望さん)
- ◇ 人里はなれた所にいるものと思っていて、なかなか見つかりませんでした。案外人間の生活している場所にいることがわかり驚きでした。
(草津市 小原比良司さん)



(米原町 江竜 昭さん)

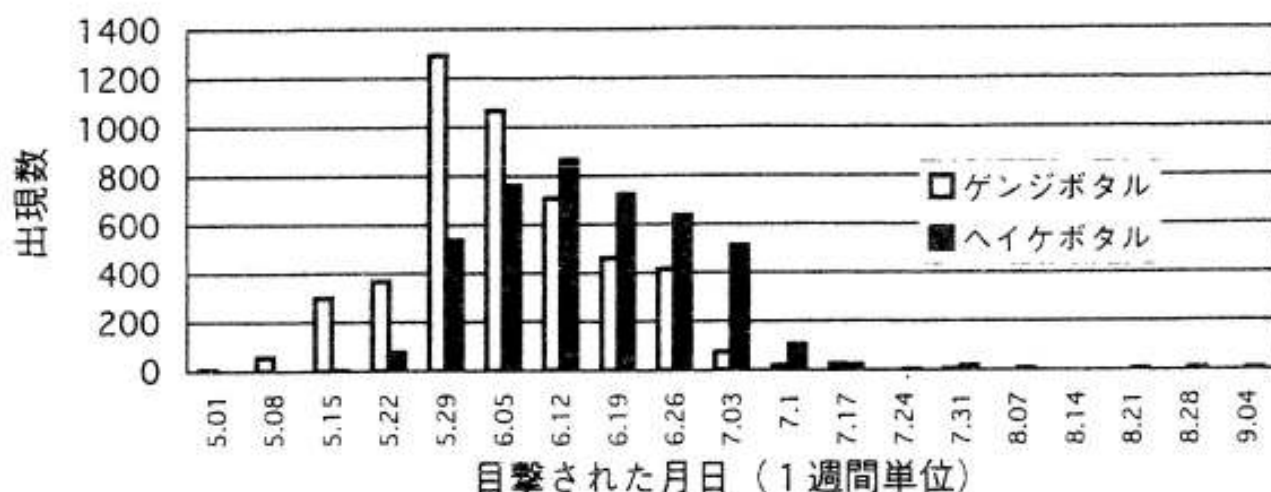
'98 第2回調査 ホタル川



マークの数字はレポートNO.

ホタルマップから量的な評価をすると、湖北の高時川、天野川流域、湖西の安曇川、堅田周辺、信楽の大戸川上流に多く見られました。また草津、守山周辺では多地点で見られ、レポーターの存在がホタルとの出会いとの有無に関わっているように思われる。湖西の今津やマキノ辺りと、彦根から愛知川にかけての空白は多分にレポーターの少ない事と関係があるのでは。来年はもっと多くの地域で沢山の人が初夏の宵に川辺に出かけて、こっちのみーずは、あーまいぞ！と呼びかけてやってほしい。(津田国史)

ホタルの出現時期



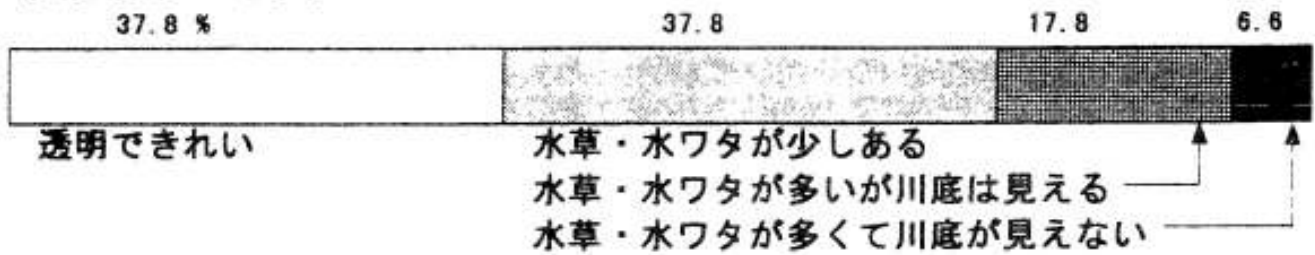
データのまとめ方は、各レポーターから報告された匹数を1週間分ごとに和したものを、その週の出現数としました。ゲンジボタルはヘイケボタルより少し早く(2週間位)出現しましたが、ヘイケボタルの方がゲンジボタルより1ヶ月ほど長い期間見られました。また両種とも初見日より1ヶ月経った頃に、出現数のピークがありました。ただ初見日や出現数そのものは、その年の気候や水の状況などに影響されると考えられるので、継続的な調査が必要です。(浅井良英)

ホタルの思い出

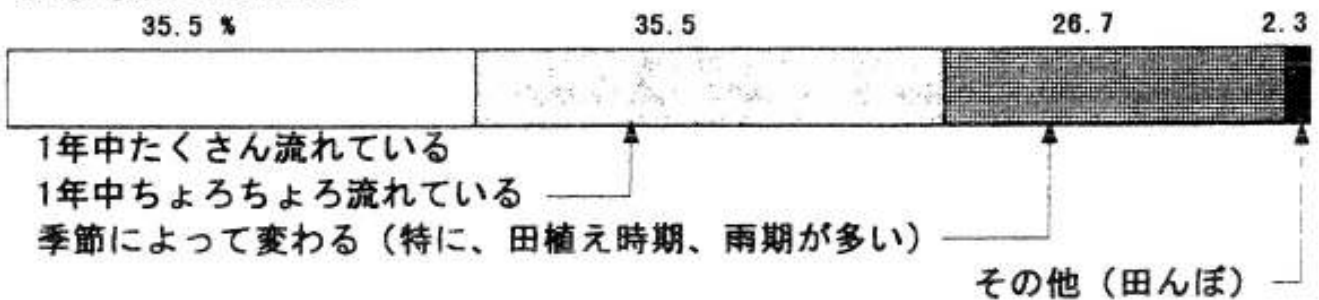
- ◆ 蚊帳の中に放して楽しんだ。(蒲生町 西堀明枝さん、草津市 小林光子さん、大津市 伊東貴美子さん、守山市 津田國史さん、米原町 江竜昭さん、匿名希望さん)
- ◆ ホタル独特のにおいが懐かしい。(大津市 澤島 篤さん、草津市 小林光子さん)
- ◆ 「蛍の光窓の雪」の歌の一節から、本が読めるほど明るいのかと思っていた。(匿名希望さん)
- ◆ 子供の頃はホタル取りや見物に来る人が多かったが、今はチカン注意や川のそば危険の看板ばかり目に付く。(野洲町 大町千恵子さん)
- ◆ かごにホタル草といっしょに入れて楽しんでいた。(安曇川町 岸田金子さん)
- ◆ 菜種がらでホタルを捕まえた。(野洲町 大町千恵子さん、草津市 小林光子さん、守山市 津田國史さん)
- ◆ 10年前は青地町、岡本町にも現在の山東町ほどいた。(草津市 肥土マサ子さん)
- ◆ 60年前はほとんどの川にホタルがいた。クリスマスツリーのようにになっていた。(虎姫町 松本睦美さん)
- ◆ 小学生の頃、大原川によくホタルを見に行っていた。(甲賀町 東 篤幸さん)
- ◆ 車のウインカーに寄ってきたり、呼応して乱舞するホタルを見た。(湖東町 加藤広康さん、大津市 菱木智一さん)
- ◆ 和泉式部の歌「もの思へば 澤の蛍も我が身より あくがれいづる魂かとぞ見る」を思い出す。(新旭町 河合敏恵さん)
- ◆ 「ホタルの高原」の歌より幻想的なイメージがある。(草津市 宇野 公子さん)
- ◆ 守山市は昭和33年頃、ゲンジボタルが天然記念物指定をうけていた。小学校の教材費用の足しにするため、獲ったホタルを学校に持ち寄った。(守山市 奥村恵津子さん)

アンケート調査

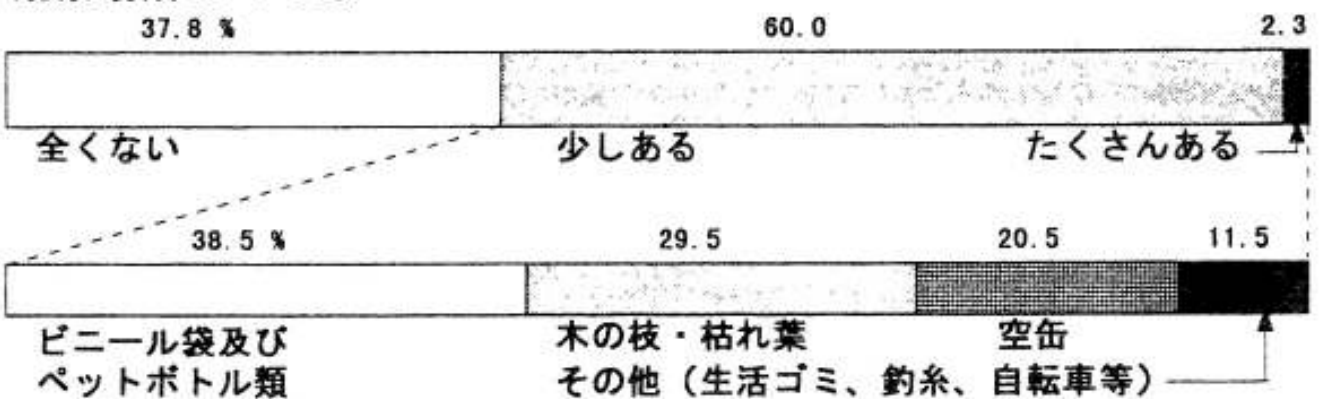
観察場所の水質は



観察場所の水量は



観察場所のゴミは



このグラフは、ホタルが見つかった観察場所のデータだけをまとめています。ホタルのいる川、水辺はきれいというイメージがありますが、ゴミや水ワタがあって少々汚れていても案外ホタルは育つようです。「水のきれいさ」は見た目や化学的な尺度だけでは表せないものなのかもしれません。しかし大部分のゴミ（ビニール、空き缶など）は人間が出しています。「ゴミの上を飛ぶホタル」なんて、あまり見たくないですね。（浅井良英）

ホタルの生息環境

報告のあった場所を生息環境ごとに分けて、その場所での最大出現匹数を表しました。環境の差が種類や出現数にどのように影響しているか読みとって下さい。

	川			人家近くの 水路や溝	水田地帯	
	コンクリート 3箇種別の川	護岸が コンクリートの川	石垣や土の 護岸の川		川幅の広い用水路 (1m以上)	水田の側溝
ゲンジボタル	ホタルのいた地域 数 ◎田井川(葛尾町) 20匹 以上	ホタルのいた地域 数 ○黒田川(山梨市) 49匹	ホタルのいた地域 数 ○丹波川(東津町) 55匹	ホタルのいた地域 数 ○上ノ山(東津町) 25匹	ホタルのいた地域 数 ○大山川付近(野洲町) 10匹	ホタルのいた地域 数 ○大原町付近(八日市) 20匹 以上
	(広い草の土手)	(広い溝-溝が汚い砂)	(石垣の護岸-溝)	三田川(大津市) 12匹	○山田川付近(野洲町) 19匹	(乾燥懸念されている)
		天神川(大津市) 23匹	草津川(大津市) 34匹	○東津市の住宅に 埋没する山中で	○東津川 20匹 まで	○船山川付近(志賀町) 5匹
		(深い溝)	(川底一帯に草)		(3箇コンクリート)	(3箇コンクリート)
ヘイケボタル		長巻基地川(近江町) 30匹				
	野上川(甲斐町) 94匹	○日野川(日野町) 8匹		○磯ノ尾(東津町) 3匹	○野洲高牧原(野洲町) 90匹	○長巻(長巻市) 20匹 以上
	(深い溝)	(川は暗い)			(2箇コンクリート)	
		○伊豆ヶ谷川(東津市) 6匹			○丹波川(志賀町) 9匹	○船山川(志賀町) 9匹
ゲンジ・ヘイケボタル両方		○丹波川(志賀町) 40匹			(2箇コンクリート)	○比田(甲斐町) 50匹
						○神ノ尾(甲斐町) 5匹
						(水が臭いからない)
						○野洲(安曇川町) 5匹
		○大井川(信濃町) 62匹	○三津川(守山市) 20匹 以上	○井ノ尾(東津町) 5匹 まで	○上水川(東津町) 5匹 まで	○真野(大津市) 60匹 以上
		(溝や護岸に草)			(2箇コンクリート)	(川干涸)
		○大井川(信濃町) 99匹		○中ノ尾川(虎崎町) 143匹	○井ノ口(東津町) 無数	○上野(安曇川町) 52匹
ホタル		(深い溝)			(3箇コンクリート)	(川干涸)
		○八重戸川(志賀町) 100匹			○井ノ口(東津町) 20匹	
		(深い溝)			(2箇コンクリート) 土手に草	
					○七尾(東津町) 20匹 以上	
ホタル					○神谷川(甲斐町) 50匹	
		○船山川(志賀町) 2-3匹			○鳥居(神北町) 18匹	
いない					(3箇コンクリート)	
			○大井川(信濃町)	○新江神社(守山市)	○ポン川(安曇町) 3匹	
				○土橋寺川(東津町) 2匹	○休野(東津市) 1匹	
				(土手と田の境)		
				○磯ノ尾川(大津市)		

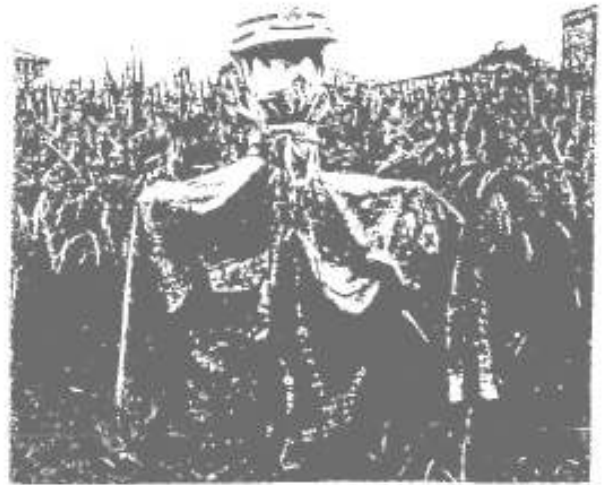
◎印は観察が大変多い ○印は観察が少し少ない 下線(一)は護岸などで空襲多い 下線(二)は護岸などで大変空襲多い

一般的にはゲンジボタルは川に、ヘイケボタルは田んぼに、そして山に近い水田地帯では両方が見られるようです。ホタルには「きれいな水」や「さなぎになる時のやわらかい土面」、「暗く広い飛翔空間」などが必要とされていますが、今回の調査ではコンクリート護岸の川にもたくさん住んでいることがわかりました。草津の街中で見たと言う報告が6件もあった事は驚きです。ホタルは意外に私たちの近くにいるようです。来年の夏は草の生えた洲のある川や、土手や田んぼの畦で草が茂った場所を探してみてください。きっとホタルが見つかると思います。(前田雅子)

第3回調査「案山子調査」中間報告

案山子の調査には多くの情報や写真があつまりました。中には一人で10件以上の報告を寄せられた方がある一方、町中走り回ったが結局見つからなかったと報告された方もおられます。しかしどちらも貴重な情報です。どうもありがとうございました。

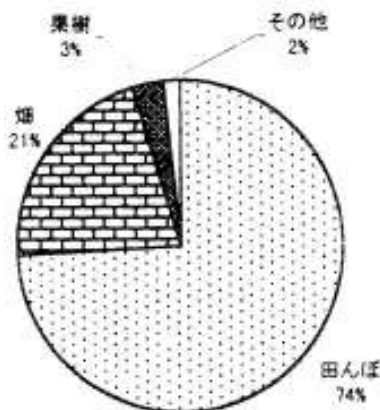
案山子の調査は民俗学的なフィールド調査になると予想していましたが、生物学的や社会学的なことまで興味深いことがつぎつぎに出てきそうです。とりあえず今回は中間報告ということで、人型案山子のアンケート調査を中心に報告します。



(大津市 武田 繁さん)

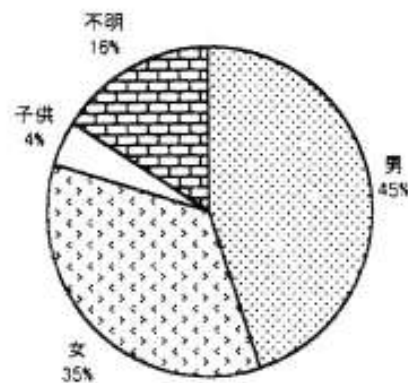
1. 案山子はどこにあったか

田畑の種類		
種類	件数	割合
田んぼ	95	74.2%
畑	27	21.1%
果樹	4	3.1%
その他	2	1.6%
合計	128	100.0%



2. 案山子の性別は

性別		
種類	件数	割合
男	62	44.9%
女	48	34.8%
子供	6	4.3%
不明	22	15.9%
合計	138	100.0%



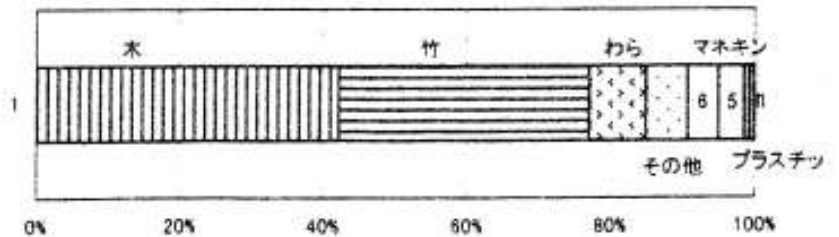
案山子といえばやっぱり田んぼが多いですね。そのほか畑、果樹など鳥や動物が悪さをする所にも見られました。道案内をする案山子も報告されています。

また案山子の性別も男性ばかりと思っていましたが、女性の割合が結構多かったです。案山子の世界も女性参画が進んでいます。

3. 案山子は何でできているか

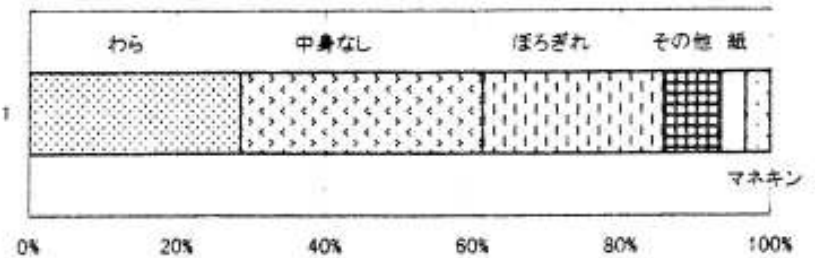
案山子の骨組み

種類	件数	割合
木	59	42.1%
竹	49	35.0%
わら	11	7.9%
その他	8	5.7%
マネキン	6	4.3%
プラスチックパイプ	5	3.6%
鉄	1	0.7%
骨なし	1	0.7%
合計	140	100.0%



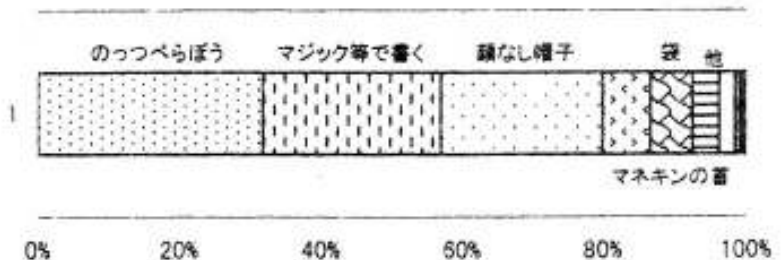
案山子の中身

種類	件数	割合
わら	34	28.6%
中身なし	39	32.8%
ぼろぎれ	29	24.4%
その他	9	7.6%
紙	4	3.4%
マネキン	4	3.4%
合計	119	100.0%



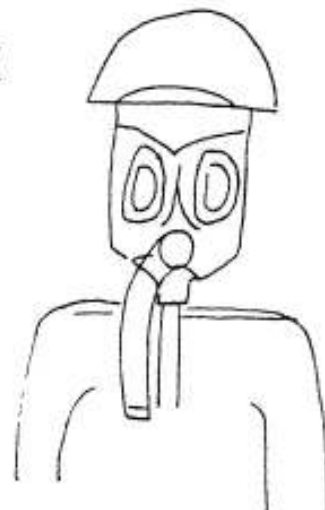
案山子の顔

種類	件数	割合
のっぺらぼう	43	31.9%
マジック等で書く	34	25.2%
顔なし帽子等が乗って	31	23.0%
マネキンの首	9	6.7%
ビニール(肥料)袋	8	5.9%
その他	5	3.7%
へのへのもへじ	3	2.2%
お面	1	0.7%
化粧品で書く	1	0.7%
合計	135	100.0%



4. 案山子の身につけている物

種類	件数	割合
シャツ	59	20.0%
麦わら帽子	40	13.6%
野球帽	30	10.2%
作業着	27	9.2%
日除け帽子	26	8.8%
その他	21	7.1%
作業スポン	14	4.7%
ほっかむり	14	4.7%
ヘルメット	9	3.1%
雨具	7	2.4%
ジャンパー	7	2.4%
スカート	6	2.0%
エプロン	4	1.4%
手袋	4	1.4%



(湖北町 土田正文さん)

種類	件数	割合
古着	4	1.4%
きもの	3	1.0%
軍手	3	1.0%
浴衣	3	1.0%
ワンピース	3	1.0%
トレーナー	2	0.7%
ビニール袋	2	0.7%
ベルト	2	0.7%
棒	2	0.7%
靴	1	0.3%
サングラス	1	0.3%
ネクタイ	1	0.3%
合計	295	100.0%

案山子の骨や中身は木や竹、わら、ぼろきれなどの自然物が案外多かったです。中身なしは骨に直接服を着せたものです。顔はのっぺらぼう、帽子だけというので過半数を占めました。鳥は目を怖がるといいます。案山子は姿で驚かすのでしょうか。マネキンの首や毒ガスマスクをかぶった案山子は、人間も逃げてしまいそうです。

案山子エピソード

案山子に対する思いや調査のエピソードがたくさん寄せられましたが、まだ整理の途中です。一部だけですが紹介します。

- ★ 家が農家なので毎年お米を作っていますが、案山子は作っていません。昔にくらべて案山子が減っていて、レポートに苦勞しました。 (湖東町 澤村美菜さん)
- ★ 案山子というと、さだまさしの歌を思い出します。最近人型案山子をまったく見かけなくなりました。風景がすこしずつ変わってきました。 (八日市市 大谷美幸さん)
- ★ 電気や爆音でなく、案山子を立てる場合には「少しくらいなら食べに来てもいいよ。」という農家の方の気持ちがあるような気がする。 (守山市 池野貴子さん)
- ★ 調査した畑は案山子があるにもかかわらず、動物の足跡や土を掘りかえした跡だけでした。 (志賀町 小坂育子さん)
- ★ 鳥がスイカやイチゴを食べるので、おばあちゃんが僕の小さくなった服を着せて、案山子を作ってくれたことがありました。(湖東町 加藤 昇さん)
- ★ 案山子の近くにメダカを発見。感激しました。(大津市 武田 繁さん)
- ★ 動物を追い払うと言うよりは、ひとつの風物詩的なものになっていて、案山子を見ると心がなごみ秋を感じる。(野洲町 佐竹節寛さん)
- ★ 案山子の顔は作った人の顔に似てくるそうです。(草津市 高木孝子さん)
- ★ 人を案山子と間違えて調査した、案山子を人と間違えてあいさつした、などのエピソードも多く寄せられています。まだまだたくさんありますが、続きは次回の報告で。(K.K)



(野洲町 中井民子さん)

ボランティアからの声

調査票の整理に参加して、今まで知らなかったことを知ることができ、楽しく作業をしています。交流会などでは学芸員の方の専門的なお話や、参加者の方々から経験豊かなお話が聞けて有意義な時を過ごしています。

(S.S)

ボランティアといってもその作業内容はさまざま。忙中閑を見つけて出席させてもらっていますが、新しい知識や趣味も増え、興味と勉強も兼ねて参加という現状です。

(Y.F)

担当からのお知らせ

琵琶湖博物館の職員の間でもたちの悪い風邪が流行っています。年の瀬、皆様もお体には気をつけてください。

さて第4回調査はお正月のお雑煮です。レポーターの「わが家の雑煮」を教えてください。またおもしろい結果が出ますよう、ご協力をおねがいします。

滋賀県立琵琶湖博物館交流センター科

桑村 邦彦



TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850

E-mail kuwamura@lhm.go.jp